

かわごえ 議会だより

Kawagoe town council

No. 178

令和5年11月1日発行
三重県川越町議会

令和5年9月定例会 子ども議会だより (中とじ)

令和4年度決算 2・3

議会の要旨、あらまし 4・5

議会スケジュール

モニター意見

一般質問 (6議員) 6~11

まちの元気な人・町の話 他 ... 12

令和4年度決算 身近な事業

ふるさと応援寄付

寄付金の使途	件数	寄付額
子育て支援に関する事業	70件	1,640,000円
障がい者の支援に関する事業	18件	460,000円
健康づくりに関する事業	14件	340,000円
教育・文化振興に関する事業	18件	350,000円
防災・安全対策に関する事業	31件	600,000円
環境保全に関する事業	33件	860,000円
その他目的達成のために町長が必要とする事業	131件	2,290,000円
計	315件	6,540,000円

(令和3年度は92件922,454円で、令和4年度は件数、寄付額とも大きく増加しました。)

・1,006人の方が合計73,111,800円の寄付を行い、町民税が3,506万円の減収となりました。

議会広報事業(議会映像配信事業)

653,400円

遠方や仕事等で議会を傍聴できない方に、議会を見る機会を提供するために、録画映像のインターネット配信を実施した。

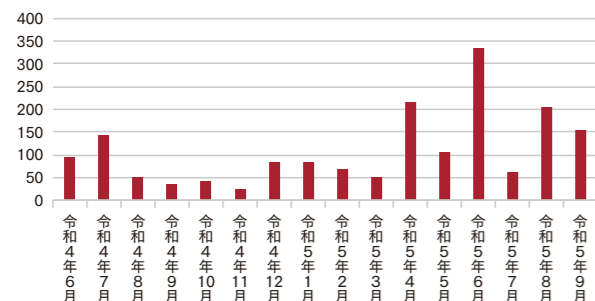
【川越町公式サイト】

【議会】

【議会映像インターネット配信】



閲覧数



まちづくり活動団体助成事業(協働のまちづくり推進事業)

- ・助成額 **24,000円**
- ・助成団体名: アイリスかわごえ
- ・事業内容: 講演会「整理・収納を見直そう」
講師: 田上のりこさん
- ・実施日: 令和5年2月1日
(川越町役場2F大会議室)
- ・参加者: 44名



講演の様子

ふれあいバス運行事業

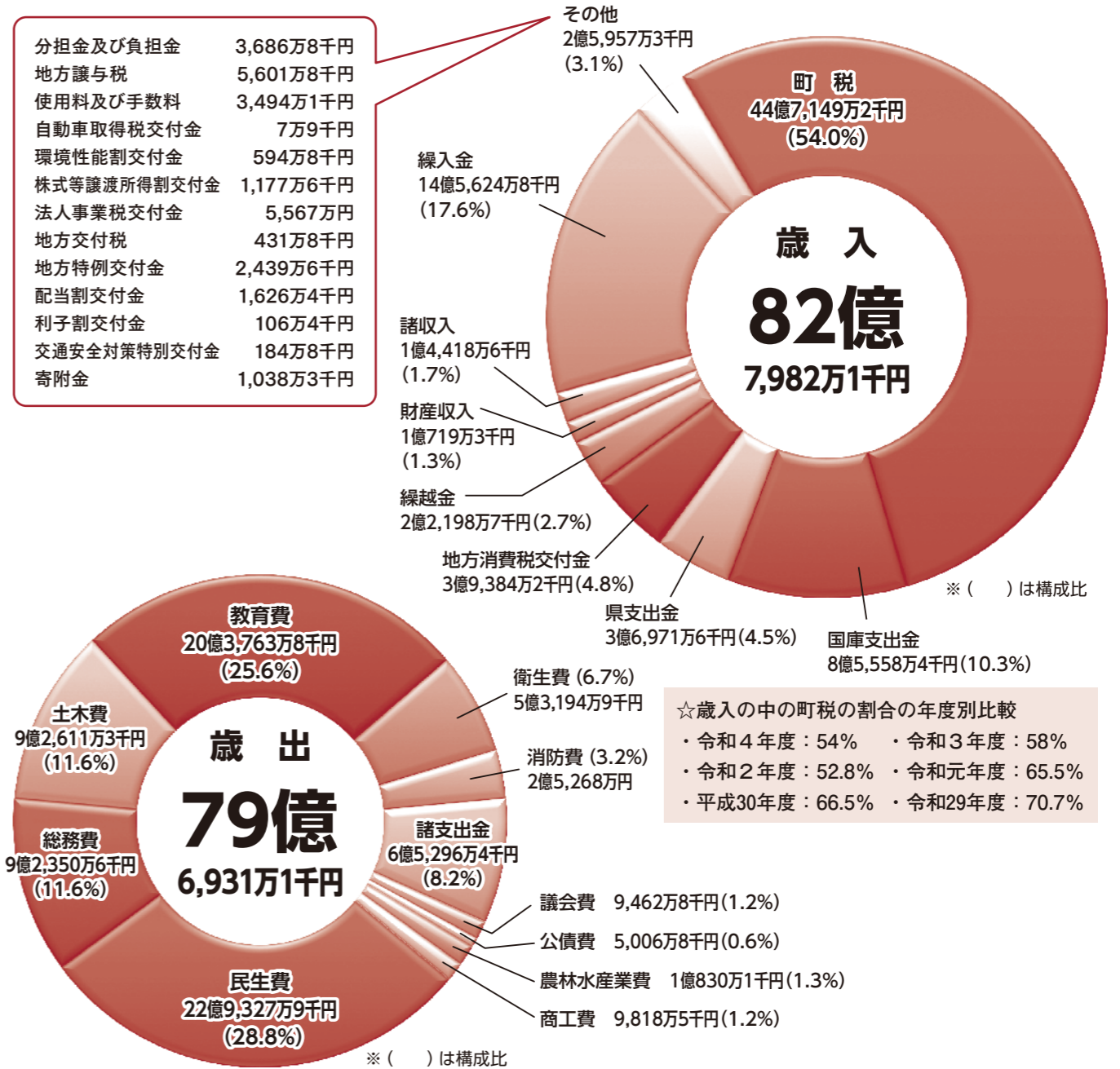
21,700,800円

- (令和3年度: 2,148万円)
- ・年間利用者数: **15,421人**
(令和3年度: 13,194人)
- 北コース: **8,162人**
(令和3年度: 6,927人)
- 南コース: **7,259人**
(令和3年度: 6,267人)



ふれあいバス

令和4年度決算を認定した!



令和4年度会計別決算状況

公営企業※会計		区 分	歳入決算額	歳出決算額	差引額
水道事業	収益	一般会計	82億7,982万1千円	79億6,931万1千円	3億1,051万円
	費用	国民健康保険	13億4,505万3千円	13億2,431万3千円	2,074万円
	損益	(事業勘定)	11億9,710万1千円	11億8,533万4千円	1,176万7千円
		(診療施設勘定)	1億4,795万2千円	1億3,897万9千円	897万3千円
		介護保険	8億6,493万7千円	8億3,456万6千円	3,037万1千円
		後期高齢者医療	1億8,315万4千円	1億7,938万8千円	376万6千円
		公共下水道事業	8億2,063万7千円	7億9,576万8千円	2,486万9千円
		合 計	114億9,360万2千円	111億334万6千円	3億9,025万6千円

※公営企業とは
水道事業は、一般会計などの税金で事業を行う公共サービスとは異なり、水道料金を主たる収入として独立採算により事業運営しており、このような企業を公営企業といいます。

第3回 9月定例会

令和5年第3回定例会は、9月5日から19日までの15日間の会期で行われた。初日は、6人の議員が町長に対して一般質問を行い、続いて町長より議案14件の提案があり、審議後、1件を原案同意した。議案13件は、各委員会に付託され、審査することとなった。また、請願4件とそれに伴う意見書を4件原案採択、可決した。

最終日には、各委員会に付託された案件及び追加提案された議案1件を全て原案可決、認定した。

議案のあらまし(全会一致)

※付託先欄 (総)…総務建設常任委員会 (教)…教育民生常任委員会 (決)…決算特別委員会 (即)…本会議即決

区分	議案番号	議案名 あらまし	付託先	議決結果
令和5年度補正予算	議案第38号	一般会計補正予算(第3号) 6,722万4千円を追加し、予算総額を73億8,947万3千円とする。	(総・教)	可決
	議案第39号	国民健康保険特別会計補正予算(第1号) 事業勘定において249万3千円を追加し、予算総額を11億9,009万3千円とする。	(教)	可決
	議案第40号	介護保険特別会計補正予算(第1号) 133万4千円を追加し、予算総額を8億5,383万4千円とする。	(教)	可決
	議案第41号	下水道事業会計補正予算(第1号) 収益的収入について105万円を減額し、収入の総額を10億1,330万9千円とし、資本的収入について43万6千円を減額し、収入の総額を7億5,969万6千円とする。	(総)	可決
令和4年度決算認定	議案第42号	一般会計歳入歳出決算認定について 歳入決算額 82億7,982万 673円 歳出決算額 79億6,931万1,076円 歳入歳出差引額 3億1,050万9,597円	(決)	認定
	議案第43号	国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について 〔事業勘定〕 歳入決算額 11億9,710万 561円 歳出決算額 11億8,533万3,547円 歳入歳出差引額 1,176万7,014円 〔診療施設勘定〕 歳入決算額 1億4,795万1,656円 歳出決算額 1億3,897万9,129円 歳入歳出差引額 897万2,527円	(決)	認定
	議案第44号	介護保険特別会計歳入歳出決算認定について 歳入決算額 8億6,493万6,945円 歳出決算額 8億3,456万6,443円 歳入歳出差引額 3,037万 502円	(決)	認定
	議案第45号	後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について 歳入決算額 1億8,315万3,960円 歳出決算額 1億7,938万7,599円 歳入歳出差引額 376万6,361円	(決)	認定
	議案第46号	公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について 歳入決算額 8億2,063万7,206円 歳出決算額 7億9,576万7,798円 歳入歳出差引額 2,486万9,408円	(決)	認定
	議案第47号	水道事業会計決算認定について 収 益 3億4,214万5,496円 費 用 3億5,008万7,424円 当年度純損失 794万1,928円	(決)	認定
	条例改正等	議案第48号	川越町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について 耐震基準及び暴力団排除に関する規程を追加するもの。	(教)
議案第49号		川越町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について 耐震基準及び暴力団排除に関する規程を追加するもの。	(教)	可決
議案第50号		川越町空家等の適正管理及び有効活用に関する条例及び川越町法務専門職員の任用等に関する条例の一部改正について 耐震基準及び暴力団排除に関する規程を追加するもの。	(総)	可決
その他	議案第37号	教育委員会委員の任命について〔任期は4年〕 後 藤 沙 紀(豊田)	(即)	同意
	議案第51号	教育委員会教育長の任命について〔任期は3年〕 稲 垣 良 夫(再任)	(即)	同意

区分	議案番号	議案名 あらまし	付託先	議決結果
請願	請願第1号	義務教育費国庫負担制度の充実を求める請願書	(即)	採択
	請願第2号	教職員の欠員や不補充を速やかに解消する施策の実行および教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める請願書	(即)	採択
	請願第3号	子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める請願書	(即)	採択
	請願第4号	防災対策の充実を求める請願書	(即)	採択
意見書	意見書第1号	義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書の提出について	(即)	可決
	意見書第2号	教職員の欠員や不補充を速やかに解消する施策の実行および教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書の提出について	(即)	可決
	意見書第3号	子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める意見書の提出について	(即)	可決
	意見書第4号	防災対策の充実を求める意見書の提出について	(即)	可決
報告	報告第7号	例月出納検査の結果報告について 一般会計・国民健康保険特別会計・介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・水道事業会計・下水道事業会計 令和5年5月分・6月分・7月分	-	-
	報告第8号	議員派遣の報告について ○議会広報研修 ○第75回三重県町村議会議長会定期総会・自治研修会 ○三重県議会議長会正副議長会議	-	-
	報告第9号	令和4年度健全化判断比率の報告について	-	-
	報告第10号	令和4年度資金不足比率の報告について	-	-
	報告第11号	令和4年度教育委員会の点検と評価報告について	-	-
			上記4意見書について、提出先：内閣総理大臣 他	

〈議会・議員活動スケジュール〉

月(〇印開催)	10	11	12
議会			○
全員協議会			○
議会運営委員会		○	
総務建設常任委員会			○
教育民生常任委員会			○
議会広報特別委員会	○	○	
議員協議会	○	○	○

月(〇印開催)	10	11	12
環境クリーンセンター議会(杉本、早川、稲塚)	○		
環境クリーンセンター監査(早川)	○		
三重県老人福祉施設組合議会(森、森本)		○	
国民健康保険運営協議会委員(寺本由、松岡)		○	
監査委員(安藤)	○	○	○
川越町介護保険事業策定委員会(早川)	○		
川越町子ども・子育て会議(早川)	○		
食育推進協議会(早川)	○		

モニターの皆さまからの「意見」

議会だよりモニターの皆さまからいただいた第177号に対するアンケート調査の結果をご紹介します。

■議員の質問はすべて記入してほしい

↓「議会だより」の予算が決まっており、詳細については「川越町ホームページ」↓「議会」↓「会議録の閲覧」で各議員の質疑は確認できますのでご覧ください。

■表紙は議会だよりの内容を連想させる写真がよい

↓今年度は「公園で遊ぶ元気な子供たち」をテーマにしています。

■議案に対する議員からの質問はないのですか

↓主だった質疑を掲載しています。

■設計イメージ写真はカラーの方が見やすい

↓残念ながら予算が決まっているので、カラーページは年1回となっています。ご理解願います。

■体験型避難所設営訓練に

モニターの皆さまありがとうございました。

■質問、再質問は項目だけでも全部掲載してほしい

↓質問項目だけでは誤解を招く可能性があるため、議会の議事録の閲覧から確認願います。

■議会、議員活動スケジュールの名前は、参加される議員の名前か。

↓ご質問の通りです。私たちは議会の見える化を目指しています。議会、議員スケジュールは、議員の日頃の活動の一端でも見ていただいて、議員の仕事ぶりをご理解願います。

モニターの皆さまありがとうございました。

町としてクーリングシェルター指定の意向は



早川 茂樹 議員



国の動向に注視をしながら、前向きに検討していきたい(町長)

水分の確保、帽子の着用や日傘の使用促進、クーリングシェルター等の使用を促している。引き続き、登下校時の熱中症対策の指導や注意喚起を行っていく。

答 教育長

問 小中学校の登下校時における熱中症対策は。

国の動向に注視をしながら、前向きに検討していきたい。

答 町長

近年、気候の上昇が顕著であり、それに伴って熱中症による死亡者数も増加傾向にある。政府は6月に気候変動適応法を改正し、自治体でクーリングシェルターを指定し、運用するように求めて行く方針だが、当町としてクーリングシェルターを指定し、運用していく意向は。

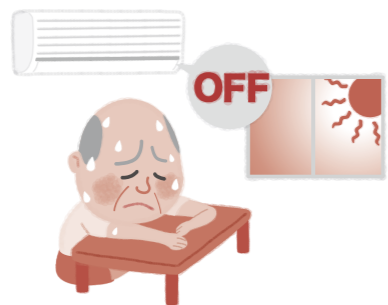
問 近年、気候の上昇が顕著であり、それに伴って熱中症による死亡者数も増加傾向にある。政府は6月に気候変動適応法を改正し、自治体でクーリングシェルターを指定し、運用するように求めて行く方針だが、当町としてクーリングシェルターを指定し、運用していく意向は。

再 健康推進課長

救急搬送件数は、当町の件数で、令和3年度が5件、令和4年度が11件、令和5年度は、8月までのデータで、12件となっている。

答 学校教育課長

クーリングタオルとかメッシュ素材のパッドなどを町から配布することはできないか。



今後、台風の接近時間やその時の状況などを考慮し、各避難発令に伴わない自主避難として安全な時間帯に避難できるようにしていきたい。

再 各避難所に簡易ベッドを配備できないか。

避難されている方の体調の変化等も考慮し配備について検討していきたい。

答 学校教育課長

部活動中の熱中症対策は。指導面においては、なるべく涼しい時間帯に活動を行う。できる限り活動時間を短くし、運動強度を

再 部活動中の熱中症対策は。

部活動や登下校時、休憩時間等、繰り返し指導を行っている。具体的な指標は、W BGT(暑さ指数)の値が31度以上になった場合は、屋外での運動を原則行わないように指導を行っている。

再 小中学校の全体的な熱中症対策は、どのような基準で運用されているのか。

現在のところ、全ての児童生徒に配布を行うことは考えていない。

再 小中学校の全体的な熱中症対策は、どのような基準で運用されているのか。

現在のところ、全ての児童生徒に配布を行うことは考えていない。

中学校の部活動の地域移行は

早期の地域クラブ活動への移行の実現を目指している(教育長)

再 ミストシャワーを試験的に導入してみたい。

弱いものとする。15分以内ごとに日陰や風通しのよいところで休憩を取り、小まめにお茶や水、スポーツドリンクなどの水分補給を必ず行う。体育館の活動であれば、換気や扇風機等を活用する。帽子をかぶるといったことを継続指導している。

答 学校教育課長

令和4年度までに移行済みの部活動は、陸上競技部。次に、令和5年度以降の当町での休日における地域移行の具体的な取組、方向性としては、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、体育協会等、各団体と共同で活動をしていく地域連携を進める中で、地域への移行を徐々に進めていくことを考えている。

再 現在のところ、部活動の地域移行の目的が立っているものはあるのか。

ミストシャワーの効果は認識しているが、町は他に有効な方法で熱中症対策をしていきたい。



安藤 邦晃 議員



避難所開設を日中に出来ないか

安全な時間帯に避難できるよう進める(安全環境課長)

台風は夜中や明け方にも上陸することがある、警戒レベルに関係なく避難できる体制はとれないか。

警戒レベル3や4で必ずしも避難する段階ではなく、警報等が出された場合、町の避難情報発令基準に基づき朝明川や員弁川の水位、潮位の干満、河川の巡視などその時の状況や今後の推移を総合的に判断し災害対策本部長(町長)が避難指示を発令し同時に避難所を開設する。

警戒レベル3や4で必ずしも避難する段階ではなく、警報等が出された場合、町の避難情報発令基準に基づき朝明川や員弁川の水位、潮位の干満、河川の巡視などその時の状況や今後の推移を総合的に判断し災害対策本部長(町長)が避難指示を発令し同時に避難所を開設する。

再 警戒レベル3で高齢者等避難、レベル4ですべての人が避難する段階であると認識しているが間違いないか。また、どのタイミングで避難所を開設するのか。

警戒レベル3や4で必ずしも避難する段階ではなく、警報等が出された場合、町の避難情報発令基準に基づき朝明川や員弁川の水位、潮位の干満、河川の巡視などその時の状況や今後の推移を総合的に判断し災害対策本部長(町長)が避難指示を発令し同時に避難所を開設する。



福祉避難所があるいきいきセンター

今後、台風の接近時間やその時の状況などを考慮し、各避難発令に伴わない自主避難として安全な時間帯に避難できるようにしていきたい。

再 各避難所に簡易ベッドを配備できないか。

避難されている方の体調の変化等も考慮し配備について検討していきたい。

再 各避難所に簡易ベッドを配備できないか。

避難されている方の体調の変化等も考慮し配備について検討していきたい。

「自立し他者と連携・協働しながら社会を生き抜く力」を身に付けさせるといふ部分は川越町教育基本方針の「豊かな心」と繋がっているものと考えている。主権者教育を充実させていくことは、「豊かな心をつちかい社会で生きていく力」に繋

再 小中学校の全体的な熱中症対策は、どのような基準で運用されているのか。

現在のところ、全ての児童生徒に配布を行うことは考えていない。

再 小中学校の全体的な熱中症対策は、どのような基準で運用されているのか。

現在のところ、全ての児童生徒に配布を行うことは考えていない。

小中学校における主権者教育への取組は

道徳や特別活動時にも取り組んでいる(教育長)

問 主権者教育について教育長の所見は。

「自立し他者と連携・協働しながら社会を生き抜く力」を身に付けさせるといふ部分は川越町教育基本方針の「豊かな心」と繋がっているものと考えている。主権者教育を充実させていくことは、「豊かな心をつちかい社会で生きていく力」に繋

再 小中学校の全体的な熱中症対策は、どのような基準で運用されているのか。

現在のところ、全ての児童生徒に配布を行うことは考えていない。

小中学校では国民主権や選挙制度について学習する時間がある。また自分たちの暮らしをより良くするために政治の働きが重要であること学び、年1回開催される子ども議会についてもここで関連させて事前授業をおこなっている。中学校では「政治参加と世論」等について学習の中で国家・社会の形成に主体的に参加していくことの大切さを学んでいる。今後小中学校において主権者としての資質や能力を育み、児童生徒が主体的な力を身に付けていくため様々な経験を通じて

再 小中学校の全体的な熱中症対策は、どのような基準で運用されているのか。

現在のところ、全ての児童生徒に配布を行うことは考えていない。

再 小中学校の全体的な熱中症対策は、どのような基準で運用されているのか。

現在のところ、全ての児童生徒に配布を行うことは考えていない。



8月に開催された子ども議会

成長していけるよう取り組んでいきたい。

政治的・社会的事象を家庭で話し合ったり考えたりする機会を学習内容に合わせて設定している。今後もどのような内容で家庭や地域と連携して主権者教育を推進していくことが出来るのか考えていきたい。

再 主権者教育を推進していくには、家庭や地域との連携も重要になってくるが如何か。

政治的・社会的事象を家庭で話し合ったり考えたりする機会を学習内容に合わせて設定している。今後もどのような内容で家庭や地域と連携して主権者教育を推進していくことが出来るのか考えていきたい。

0～14歳人口急減!! 対策は

結婚、出産、子育て環境の充実を図り、若い世代の定着が図られるよう魅力あるまちづくりを進めていく(町長)



稲塚利夫 議員

再 年少人口の減少を防ぐには子育て支援の充実のほか、子育て世代の世帯数を増やす施策が重要だがどのように取り組むのか。

答 町長 他自治体より子育て支援サービスを手厚く充実させてきており、国の「異次元の少子化対策」の動向に注視するとともに、県と連携して取り組んでいく。

問 平成25年から、当町の年少人口(0～14歳)は減少に転じており、0～4歳児は190名が激減している。活気ある川越町の継続には子育て世代の流入促進と定着環境整備、流出抑制等の対策が必要だが、当町が他自治体に先行して取り組む施策や予定している施策は。



休止の続く町民プール

酷暑下も続く町民プール休止

代替的施設利用に伴う利用料の差額を町が負担することは難しく、慎重に検討していく必要がある(教育長)

答 企画情報課長 若い世代は転入、転出が多いため、子ども医療費の対象年齢拡大や子どもたちの心を育てる教育に力を入れ転入と定住を図っている。

再 事前に割引券を発行する方法が考えられるが、発行時やプール利用時の本人確認等で利用者に手間を取らせることになる。当該温水プールの2時間までの利用料金は町民プールより割高だが、営業時間内であれば時間制限なしで利用が可能のため2時間以上利用の場合は町民

問 町民プールは令和2年度から休止が続いており、今後策定の公共施設等総合管理計画で他施設への転用を含めた運営方法を検討すると伺っている。住民に寄り添った行政サービスの考えのもと、町民プールと同額で町民が川越火力発電所温水プールを利用できるようにできないか。

答 教育長

問 気候変動や線状降水帯により全国で豪雨災害が多発しているが、当町の排水路はどれだけの時間降雨量に対応できるのか。また、令和6～7年度で策定予定の雨水管理総合計画で対応可能な降雨量をどう考えているのか。

線状降水帯・豪雨対策は

新たに雨水管理総合計画を策定し、雨水施設の整備をしっかりと計画していく(町長)

ることから利用料差額の町負担は慎重に検討する必要がある。



豪雨から町を守る「朝明ポンプ場」と「川越排水機場」



答 町長 現在の計画は地域によって若干異なるが、時間雨量61～70ミリメートル程の降雨に対応している。策定予定の計画では近年の降雨データも反映した計画降雨量をこれから設定し、雨水施設の整備もしっかりと計画していく。



森本恵幸 議員



空き家の現状と対策は

平成30年度より『川越町空き家対策計画』を策定、空き家解消に取り組んでいる(町長)

問 空き家は建物や土地が手入られされないまま放置されていることが多く、それにより景観が損なわれ、また不法侵入や放火など犯罪の温床になることも考えられるが、どのような防犯対策がなされているか。

答 町長 令和4年度に再度、綿密な調査やアンケートなどの実態調査を行った結果、42件の空き家が確認された。持ち主は全ての空き家に対して把握している。

問 少子高齢化による人口減少や核家族化などの理由で空き家が増えつつあると想定するが、現在、空き家はどのくらいか。また、持ち主は把握されているか。

再 令和4年度に再調査した結果が42件とのことだが、それ以前は何軒だったのか。また、民間による空き家の活用事例は。

答 町長 防犯対策については、所有者が行うことが義務であるため、直接的な対策はしていない。しかし町では空き家の適正管理や、空き家バンク制度を活用した売却却却、賃貸制度の活用などを広報にて案内している。また、個別相談会などの窓口の紹介もしている。管理不全の空き家に対しては所有者や関係者に連絡を取り周囲に迷惑をかけないよう依頼をしたり、指導を行ったり、空き家解消に向けて話し合いを進めている。

公園の管理と状況は

地域と行政が協働して、誰もが気持ちよく利用できる公園を目指す(町長)

答 町長 維持管理については、自治会を中心とした地域の皆さんに行っていたで行っている。遊具の点検や修繕については町で実施している。また、高木の剪定伐採(せんていばっさい)についても計画的に町で行っている。

問 それぞれの公園の管理はどのように行っているか。

答 町長 都市公園法に基づいて整備された「都市公園」が2か所、「こども広場」が2カ所、企業が整備した「川越緑地公園」が1カ所で合計25カ所ある。

問 町内の公園の数と種類は。



答 子ども家庭課長 遊具の利用については、正しく利用することが基本である。危険な行動をしないように、周りの大人や年上の人が教えて行くことが大切であると考える。

再 公園の遊具で遊ぶ子どもを見ていると、考えられないような危険な行動をすることがある。注意喚起を促してはどうか。

川越町おもちゃ診療所

2か月に1回、ボランティアとして地域の子どもたちの壊れたおもちゃを修理する「おもちゃ診療所」を開所しています。「おもちゃ=命あるもの」と考え、子どもたちに命の重みや物を大切に扱うことを学んでほしいという思いで、壊れたおもちゃに命を吹き込んでいきます。

最近のおもちゃは、構造が複雑なのでメンバー間での協力が不可欠。まさにチーム医療です。他市町の診療所とも交流し、技術の向上に努めています。

会員は40、80代と幅広い世代の方が属しています。ホームセンターや100円ショップではついつい修理に使う材料や道具を探してしまいますね(笑)。修理したおもちゃを渡したときに触れる子どもたちの笑顔はやはり感慨深く、活動を続ける原動力になります。診療所業務多忙につき、仲間を募集しています。お気軽にお問い合わせください。

川越町

ボランティアセンター

TEL 365-0024



全国町村議会議長会 より 感謝状贈呈

寺本清春議長が、さる7月12日に全国町村議会議長会より2年間理事を務めたことにより、まず功績を称えられ、感謝状が贈呈されました。



町の話



9月の29日には中学校の体育祭、30日には幼稚園の運動会が開催されました。中学校長の田口先生から、今年から保護者の入場制限なしで開催できる事に対して喜びの言葉がありました。それぞれ元気な子ども達の姿を見ることができて、川越の明るい未来が思い描けました。

また、10月に入って、7日は5年ぶりの開催となった朝明商工祭、8日には4年ぶりの町民運動会と、天候が心配される中、こちらも楽しい笑顔があふれるイベントとなりました。

コロナで苦しんだ3年間からコロナ前の日常の回復を実感でき、喜びを感じることができました。

早川 茂樹(記)

中学校
体育祭



町民
運動会



編集後記

今年の夏は記録的な酷暑が連日続く年となりました。心配された新型コロナウイルス感染症も、5月には5類移行となり、8月10日には『子ども議会』が開催されました。12名の子ども議員が、町に対して忌憚のない「質問を投げかける姿を拝見し、新人議員の私にとっては、とても実になる学びをさせていただきました。

広報委員会としましては、小学生からお年寄りまで幅広い年齢の方々が興味を持っていただけるような『議会だより』を目指していきたいと思っております。

皆さまのご意見、ご指導を宜しくお願いいたします。
森本 恵幸(記)

お知らせ 令和5年 第4回 定例会予定

月 12/4	火 5	水 6 本会議 (開会)	木 7	金 8	土 9	日 10
11	12	13	14	15 本会議 (閉会)	16	17
総務建設 常任委員会	教育民生 常任委員会					

傍聴することで町政への知識を深め、町議会の活動方針を知ることができます。また、本会議当日は、役場1階ロビーのテレビにて、議会の模様をライブ配信しています。町ホームページでは、過去の会議録(本会議のみ)が閲覧できます。また、録画映像の配信を始めましたのでご覧ください。